

u- 学びの学習開発技術

u-学び(universal and ubiquitous learning)とは

u-学びとは u-learning のことですが、これは universal and ubiquitous learning の意味で使用しています。ここで universal とは万人のためのという意味で使用しており、ubiquitous はラテン語からきたもので神がどこにでもいつでも遍在するという意味で使われています。現在、情報通信技術 (ICT, Information and Communication Technology) が教育の分野においても広く活用されています。そのような学習として e-learning, u-learning, m-learning などがあります。これらはいずれもすでに専門用語として使用されるようになっていて、インターネットの Google で検索してみるとつぎのような頻度になっています。(2005.1.11)

e-learning	約 11,600,000 件
u-learning	9,030 件
m-learning	約 530,000 件

ここで m-learning は mobile learning のことです。また u-learning は ubiquitous learning ともいわれているので、この用語で検索するとつぎのようになります。

ubiquitous learning 約 621,000 件

以上は全世界での件数です。それにたいし日本国内のみに限定して検索するとつぎのようになります。

e-ラーニング, e-学習, e-learning 関連の合計	4,770,000 件
ユビキタス学習関連の合計	33,700 件

以上のように研究や実践は活発に行われていますが、ここで注目したいのはこのような情報通信技術 ICT が変動社会においてのどのような問題を解決するために活用されようとしているかです。情報社会は一面では経済的な条件によって恵まれている人と恵まれていない人との格差を大きくする可能性もあるし、福祉や雇用問題とも関連して恵まれていない人々に学習の機会を提供する可能性も秘めています。したがって、ICT を活用するにあたっては自分の目的を明確にする必要があります。

u-学び(universal and ubiquitous learning)のさまざま

u-学びはどのようなものか

u-学びが目指す学習

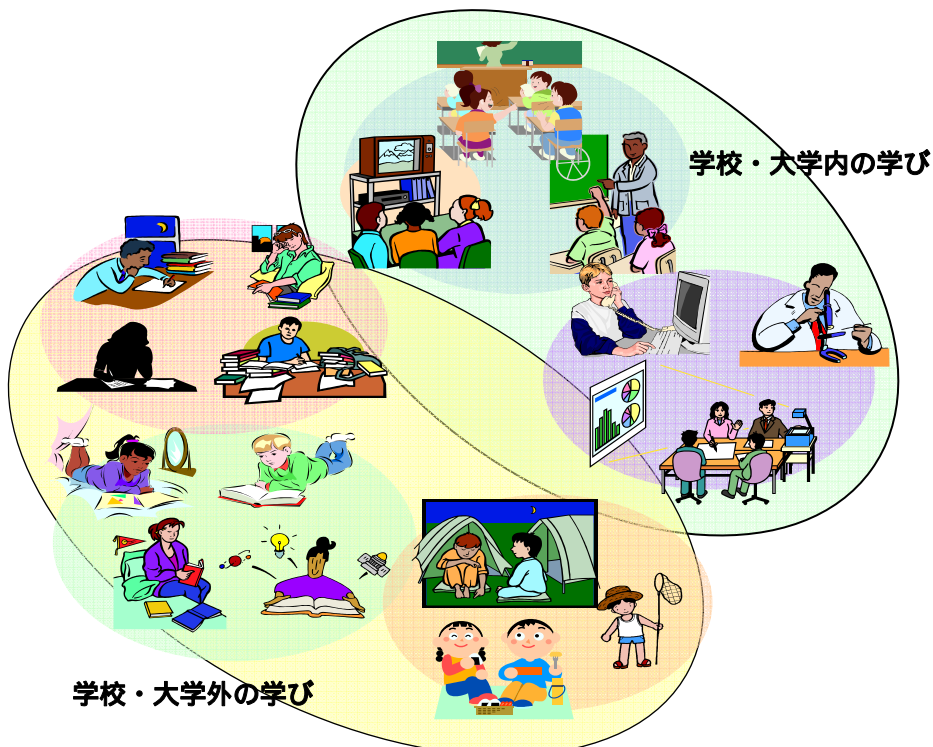
- 生活権としての学習する権利を保障する学び
- 進学・進級のための学び
- 日常的な家庭での学び
- 義務から開放された学び

人はあらゆるものから学ぶ

- 友達から学ぶ, 同僚から学ぶ
- 教師から学ぶ, 家族から学ぶ
- 自然から学ぶ, 環境から学ぶ
- おもちゃで学ぶ, 模型で学ぶ
- 図書から学ぶ, 新聞から学ぶ
- インターネットから学ぶ, テレビから学ぶ

ユビキタス ICT 時代の学習者モデル

- 子どもも学生も大人も等しく最新の情報に接することができる
- 教師が子どもや学生よりもよく理解しているという前提が成り立たない
- ケータイ文化では子どもや若者が先住民であり, 大人は遅れてきた移住民である



学習開発の技術

1. 学習開発の原理

- a. 変動社会，多様性，少子化社会で学ぶ権利と学習開発
- b. 「生きる力」としての能力開発と社会での認定
- c. 学習開発をするための教育技術

2. 学習分析技術

- a. 学習者理解
 - i. 観察記録法
 - ii. インタビュー法
 - 1) 面接法
 - 2) メール法
 - iii. 調査紙法
- b. 学習過程分析
 - i. 録音・録画の方法とプロトコル作成
 - ii. コード化とカテゴリー分析などの定量的分析
 - iii. 縦断的なデータの質的分析と解釈
 - iv. コミュニケーション分析
 - v. 子どもについての理解の記述方法

3. 学習設計技術

- a. 学習目標の構造と記述
 - i. 行為動詞の選別と使用方法
 - ii. 到達目標と向上目標
- b. 学習過程の予測と記述方法
 - i. イメージ・図式モデル・命題
 - ii. 記号・図式モデルの記述方法
 - iii. モデル(MACETO)と学習事象
 - iv. 学習事象の系列化
- c. 判断命題の記述方法
 - i. 行為にいたる判断と技術
 - ii. 規範命題から実践的三段論法による行為
- d. 学習環境の設計とアフォーダンス

4. 学習指導実施技術

- a. 説明，指示，相談など
- b. 学習環境の設営と運用

5. 学習評価技術

- a. 診断的評価・形成的評価・総括的評価
- b. 目標達成の指標と評価
- c. 目標記述とルブリック
- d. 到達度評価とポートフォリオ

6. ICT 活用技術

- a. データ解析の技術
- b. 資材管理システムの運用
- c. 通信システムの構築と運用
- d. コピキタス機器(ケータイと電子手帳など)の活用技術

今後の連絡先

NPO 法人学習開発研究所

e-Mail: nisinohr@u-manabi.org

URL: <http://www.u-manabi.org>